

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2015 No.36

inaokigakuen news letter



ひとりひとりが、
新たな旅立ち。
今年も稲置学園各校で、
卒業式・卒園式が行われました。

巻頭

新年度 ごあいさつ

特集

星稜高等学校サッカー部

祝 全国高校サッカー選手権大会 優勝!

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryô 〜星稜の友〜

総合研究所・地域連携センターだより

星稜 Information

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくはP14をご覧ください



北陸中日新聞提供



星稜高校サッカー部 全国大会優勝!



北陸中日新聞提供

第93回全国高校サッカー選手権大会において、星稜高校サッカー部が初優勝の快挙を成し遂げました。昨年、決勝戦で延長戦の末に惜しくも破れた星稜高校。その悔しさを乗り越え、今年見事に全国優勝をつかんだ星稜高校サッカー部の姿に、全国が感動に包まれました。

**監督不在という
逆境を力に変えて
見事全国制覇**

1月12日(月・祝)、埼玉スタジアム2002にて第93回全国高校サッカー選手権大会の決勝戦が開催され、2大会連続で決勝進出となった星稜高校サッカー部が初の全国制覇を成し遂げました。

前回大会では同じく決勝の舞台で延長戦を戦い、惜しくも準優勝となった星稜高校。その雪辱を晴らすべく「全国優勝」を目標に予選を勝ち抜きましたが、全国大会の直前にチームの支柱である河崎護監督が不慮の事故で入院、大会で指揮をとることができなくなりました。

この不測の事態の中、3年間河崎監督の指導を受けた選手たち、また監督代行を務めた木原力斗コーチを始めとするスタッフ陣が一丸となって大会を勝ち進み、迎えた決勝では延長戦の末に強豪前橋育英高校(群馬)に勝利。昨年の無念を晴らし、見事に全国高校サッカー部の頂点に立ちました。

監督不在という逆境に負けず決勝に進出、一年前に逃した優勝をつかみ取った星稜高校サッカー部の姿に、全国から惜しみない喝采が送られました。

新年度ごあいさつ



桜の便りが次々に聞かれるこの折、大学、短期大学部、高等学校、中学校、両幼稚園で新たに学ばれる皆さまを心より歓迎いたします。新しい環境の中で皆さんが充実した生活を送れますよう全力をあげて支援するとともに、学園の健全な継続とさらなる発展に教職員一同取り組んでいきたいと考えております。

さて、大学では、2016年4月に「人文学部国際文化学科(仮称)」を設置いたします(現在、設置認可申請中)。

「グローバル化」が進む現代において、社会からは、それに対応した人材育成が求められております。

それに応えるため、新学部では、英語コミュニケーション能力を高め、学部全員が長期海外留学を経験することにより、国際的な視野で物事を考えるとともに、日本と地元石川の文化・歴史を理解し、その対比の中から他国の異文化への理解を深めます。そして、異なる価値観を持つ人々と協力して働くことができ、困難にも真摯に取り組むタフな人材の育成を目指します。

高等学校、中学校においても、英語の基礎的能力向上と日本文化を含む異文化への理解を深めるためのプログラムや海外語学研修の充実を図ります。

今年は、新学部の設置の準備をはじめ、学園全体が新たな発展を実現していく一年と捉えております。

これからも学校法人稲置学園は、建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」に基づき、星稜の人間教育を、地域へ、世界へ、届けてまいります。

学校法人稲置学園理事長 稲置美弥子



星稜高校サッカー部
鈴木大誠 前主将

一番の目標を達成

全国高校サッカー選手権大会の優勝。これは自分がキャプテンに就任してから、一番の大きな目標でした。この目標を仲間とともに達成できたことが大変うれしく、また自分の自信にもつながりました。応援していただいたOB・OG・保護者の方に、この場をお借りしてお

プレーヤーとしても
人間としても
大きく成長させてくれた
星稜に感謝しています。

礼申し上げます。皆様の支えを実感できたのが優勝パレードです。正直なところ、そんなに人は来ずに沿道はガラガラなんじゃないかと心配していたら、なんと4万5千人の方々に集まっていただき、「この人たちの応援があったからこそ優勝できたんだ」と実感できました。

監督不在でも、教える胸に

今回、河崎監督が入院された中でも浮足立つことなく「いつも通り」を心がけられたのは、日頃のご指導のおかげです。普段から監督は、ことあるごとに「いつも通り」の大切さを私たちに教えてくださいました。

監督不在の中でも、この教えをあらためてかみしめながら大会に挑みました。

大会前、実は先発組と控え組の間に温度差がありました。出られない不満や、プレーに納得できない憤りが態度に出てしまっている、そんな場面でもキャプテンとして、監督が不在でも自分が皆をまとめられるよう気を配りました。これも自分一人ではできただけではなく、温度差を最初に感じたのはチームメイト。彼から助言をもらったのが気付ききっかけでした。彼も自分がキャプテンとして役目を果たすことを期待してくれたのでしようし、その期待に応えるため、皆が不快にならないよう気をつけながら説明しました。そして、直前ですが一体感が取り戻せたと感じられる状態に。苦しい戦いの中でも、しっかりと「いつも通り」のプレーができたこと、そしてチームメイトたちの協力があったからこそ、この結果につながったのだと思います。

我が強い自分が変わった

自分がキャプテンに任命されたのは2年の夏。河崎監督の指名でした。最初は戸惑いもありましたが、自分なりに努力してうまくできたかな、と思います。キャプテンという大役を務められたのも、星稜の「人間教育」のおかげです。高校生になる前から、いろんな人から「我が強過ぎて人の話を聞かない」と注意されてきました。星稜高校では、監督・コーチはもちろん先生方から、人間性を高めることの大切さを教えられ、自分も今では人の意見にちゃんと耳を傾けられるようになりました。星稜ではサッカー選手としての実力を磨けたうえ、人間力を高められ、ここに来てよかったとつくづく感じています。星稜に来なかつたら、いまの自分はありませんでした。

サッカー選手としての目標は、プロになること。これは昔から変わっていません。4月から筑波大に進学し、石川県を離れますが、そこでも星稜での教える胸に、夢に向かって努力し続けます。





監督不在の困難に立ち向かう 選手たちのひたむきな姿に 勇気をもらいました。

不安と重圧の全国大会

「今大会、選手たちには『去年の忘れ物を取りにいく』という気持ちが強かったと思います。昨年、先輩たちや応援してくれたたくさんの方々が悔しい思いをしたのを誰よりも間近で感じたのが今大会を戦った選手たちです。」

「今度こそ全国優勝を」という強い気持ちを持つ選手たちにとっても、もちろん私たちにとっても、大会直前の河崎監督の入院はまさかの出来事で、戸惑いがなかったわけがありません。しかし選手たちは、不安を一切表には出ませんでした。

監督代行を務めることになった私も、不安がなかったと言えば嘘になります。このチームを3年間指導してきた監督の思い、最後の大会に懸ける3年生たちの思いを背負って、大きな重圧を感じていました。しかし、たとえ監督が不在でも監督から受けてきた指導を実践しようという苦況に立ち向かう選手の姿勢を見て、私も自分ができることを全力でしようと思いました。私の方が、選手たちから勇気をもらったんです。

強い思いが叶えた全国優勝

大会中も、選手たちが成長していくのを実感しました。試合を重ねるごとにベンチにいる私の方を見る回数が減り、今やるべきことを自ら考え行動する自立した選手へと成長して

いきました。それこそ河崎監督がずっと彼らに指導してきたことです。

選手たちは、監督だったらどう言うかを考えながらプレーしていたはず。それは私も同じで、監督ならこの場面でどう指揮するかを考えていました。河崎監督はその場にはいませんでしたが、これまでの監督の指導に応えようという思いが、控え選手や私たちスタッフも含めてチームをひとつにまとめてくれたのは間違いありません。

今回の全国優勝は、選手たちの強い気持ちが結実したものです。昨年の悔しさ、河崎監督への感謝、応援し

てくれるたくさんの方々への恩返しなど、たくさん思いがこの結果につながったのだと思います。

連覇を目指し新チーム始動

優勝が決まった直後、私は河崎監督に電話をしました。監督は非常に喜んでいましたが、優勝したこと以上に選手たちの成長を喜んでいました。

大会を終えて金沢へ帰る途中には監督が入院する病院に立ち寄り、選手たちから優勝報告をしました。監督を見て涙する選手もいて、やはり彼らも不安の中で戦っていたのだと思います。大きな不安と困難にも一生懸命に立ち向かった選手たちひとりひとりに、心からありがとうと伝えたいですね。

サッカー部では、すでに新チームが始動しています。彼らの次の目標はもちろん「連覇」です。私たち指導者の目標は、彼らの目標をサポートすること、そして自立した社会人への成長を導くことです。これからも星稜高校サッカー部とここで成長していく選手たちに、変わらないご支援をよろしくお願いいたします。



★大 SJPMマガジン 第一号発行!

SEIRYO JUMP PROJECT (SJP)に所属する学生たちが、ジャンプチャレンジ企画の専門雑誌を作りました。「自分を超える力をつける。」を合言葉に活動している14団体を紹介しています。この冊子がきっかけとなり、多くの学生が積極的に活動することを期待します。



★留学生 スピーチコンテスト

1月23日(金)、「第12回金沢星稜大学留学生スピーチコンテスト」が開催されました。参加したのは学部生と科目等履修生合わせて5名の留学生です。

「日本と中国の文化の違い」というタイトルで自身が感じた日本を語った、WANG Yingyingさん(経済学部3年次)が最優秀賞に選ばれました。



★グローバルな学びの チャンスを最大限に!

1月27日(火)、イギリスのUniversity of Kentに2014年5月から12月まで派遣留学していた学生3名の、英語での報告会が行われました。報告会では、アカデミックな授業を受けるための英語学習から学部講義の受講までの学修経過報告のほか、

様々な困難に直面した学生たちが、どのようにその困難を乗り越えたかについての説明もありました。8か月間で学んだ英語能力だけでなく、様々な文化背景の留学生たちとの交流を通して得たコミュニケーション能力が十分発揮されていました。報告会を聞きに来た教職員が質問した際には、ユーモアも交えながら英語で回答する学生たちが印象的でした。



★ピアノおさらい会♪

2月3日(火)、「器楽Ⅱ」を履修している人間科学部こども学科1年次の学生57名が、半年間の成果を発表



する「ピアノおさらい会」が稲置講堂で行われました。本学に入学して初めてピアノを演奏するという学生が半数以上いましたが、担当教員の指導や個人練習、仲間と支え合いながら、全員最後まで演奏することができました。



※取材の都合により、学生・生徒・園児の学年は平成26年度のものを掲載しています。



金沢星稜大学女子短期大学部
松崎 陽子 教授

山あり谷ありの人生だった

1976年に大学を卒業、出版社に入社しました。当時は「女が大学なんて行くと理屈っぽくなってイケナイ」と言われていた時代。就職も短大生が一番人気で、「4大卒の女なんていらぬ」という企業も少なくなかったのです。入社試験を受けられるのは、ほんの一握りの会社。どのみち厳しいのなら、出版社を目指そうと考えました。100社に問い合わせて、受験できたのは21社。うち2社に内定しました。選んだのは、婦人誌といわれる主婦のための総合雑誌をメインに出版している中堅の会社でした。ここで10年間、編集記者として様々な記事を書いてきました。結婚、出産を経て、子供の小学校入学を機に退職してフリーランスの文筆業に。雑誌に寄稿したり、本を出版したり、講演活動を行うなどしてきました

が、思うところあって39歳で大学院に進学。3年かかって卒業し、経済学修士の学位を得ましたが、ここから人生が暗転します。夫が「若年性認知症」という不治の病気を発症、生活費、夫の医療費、マンションのローンなどすべてが私1人の肩にかかることに。フリーランスの仕事では、とても追いつかないので、必死に仕事を探しました。

「やらなかった後悔」よりも 「やってしまった後悔」を!

キャリアデザインの 重要性を伝えたい

学生にもよく話しますが、「マンションのピラ配りからレンタルモップのセールスまでやった教授は私くらいじゃないのでは」というほど、何でもしてきました。夫は高齢者の認知症と同じ症状で、徘徊をするので「自主的徘徊」を計画して2人で歩き回り、同時に「産業カウンセラー」の勉強をして資格を取得。これが梃になって、法政大学キャリアセンターにキャリアカウンセラーとして勤務、その後、新潟県にある長岡大学に教員として採用され、昨年、金沢星稜大学女子短期大学部に赴任しました。現在62歳、定年まで3年しかありませんが、どうしても女性、とくに短大生にキャリアデザインの重要性を伝えたいのです。



プレゼミナールでは情報小冊子を作成しました。

就職や結婚が決してゴールではない事を、私ほど身をもって体験した者はいないでしょう。その体験を基に、自分自身の人生のデザインがいかにか大切かを伝えられたらと思います。そして2年間しかない短大生だからこそ、何にでも積極的にチャレンジして、後になって「学生時代にやっておけば良かった」なんて事のない学生生活を送ってほしい。「やらなかった後悔」ほど残念なことはありません。失敗から多くの事を学べます。挑戦する皆さんをサポートしていきたいと考えています。



講義中は教室内を歩き回るので学生も緊張感が維持されます。

短 就職活動がんばろう！

バレンタイン直前の2月10日(火)、恋のキューピッドに扮した篠崎尚夫学長と本田実特任准教授がこれから就職活動を迎える学生たちに逆バレンタインプレゼントの「就活コフレ」を手渡しました。就職活動生たちは、このコフレで変身し、人事の方のハートを射止め、内定を勝ち取ります！



短 学んだビジネスマナーを実践！

2月17日(火)、短期大学部学生ホールで「マナーコンテスト」が行われました。1チーム3名の計11チームが参加し、日頃の講義で学んだことをロールプレイングで実践しました。クレーム対応や急な来客、英語での電話対応

など、本番さながらのシチュエーションで行いました。篠崎学長をはじめ、教職員が見守る中でのロールプレイングでしたが、学生たちは臆することなく堂々と役を務めました。



高 悪天候だった修学旅行！

12月3日(水)～6日(土)、1年生がコース別に分かれて修学旅行へ行きました。

悪天候のため残念ながらスケジュールが一部中止変更となりましたが、友達と楽しい時間を思う存分共有し、見聞を広めました。

各コースの主な行き先は、次のとおりです。

●Aコース 関東

1日目は、リクルート企業訪問、東京スカイツリーに上り、浅草寺に立ち寄りしました。2日目は、東京大学の見学、班別に分かれて大学を訪問し、3日目は、東京ディズニーシーを楽しみ、4日目は、富士山5合目を散策しました。



●Bコース 北九州

偶数クラスと奇数クラスに分かれ、奇数クラスの1日目は、秋吉台・秋芳洞、2日目は、クラス別研修とハウステンボス、3日目は、平和公園と原爆資料館で講話と長崎市内の班別自主プラン、4日目は、大宰府天満宮を訪れました。偶数クラスは、その逆の日程を周りました。



●Pコース 沖縄

1日目は、首里城と道の駅かでな、体験王国むら咲むらへ、2日目は、アメリカンビレッジと万座毛、3日目は、美ら海水族館、ナゴバイナッブルパークとひめゆり平和祈念資料館、4日目は、おきなわワールドを見学し、帰路に着きました。



高 快挙！最優秀校記録更新！

2014(平成26)年度石川県高等学校総合体育大会総合成績において、本校が総合と男子で最優秀校、女子は優秀校に輝き、1月28日(水)に、いしかわ総合スポーツセンターで表彰されました。総合の最優秀校は39回目となる偉業を達成しました。今後さらに心と技と力を磨き、2020年の東京オリンピックで活躍する選手が出るかもしれません。また、本校の次の個人・団体も表彰されました。

(功労者)指導者

河崎 護先生(サッカー部顧問)
矢後慎太郎先生(レスリング部顧問)
西川 明大先生(トランポリン部顧問)
(優秀選手個人)

(優秀選手個人)

レスリング部
中村 優太さん(3年)
矢後 公誠さん(2年)
トランポリン部
堺 亮介さん(2年)
宮野 冬馬さん(1年)
安藤 諒さん(2年)
中野 蘭菜さん(2年)
平野 里歩さん(3年)
(優秀団体)
男子サッカー部
男子トランポリン部
女子トランポリン部



★ 留学生ボウリング大会で 日本人学生との交流！

12月12日(金)、毎年恒例の留学生ボウリング大会が、金沢市内のボウリング場で開催されました。学生、教職員合わせて約50名が参加し、留学生たちは日本人学生との交流を深めながら、ボウリングを楽しみました。また、サッカー部に所属する学生の参加により、場内は大盛り上がりしました。



★ 各団体の リーダー集結！

2月16日(月)、クラブ・サークルの新旧代表者が集まり、年に一度の「サークルリーダー研修会」を開催しました。研修内容としては、新年度を迎えるにあたっての新入生歓迎祭・新入生勧誘に関する意見交換会から始まり、来年度の活動における目標・目的・要望を各々の団体で話し合いました。



★ 4年間の 集大成を報告！

経済学部の4年次が卒業論文の概要を報告する卒業研究報告会が12月16日(火)に開催されました。身近なことから文化や世界経済に至るまで、経済学や経営学の観点からアプローチした多彩なテーマが並びました。学生たちは2月の卒業論文完成へ向けて先生方からのアドバイスを耳傾けていました。

また、人間科学部の4年次による卒業研究発表会が2月13日(金)に開催され、ゼミナールでの研究成果を発表しました。



★ 幼稚園児の「だいがく としょかんたんけん!!」

3月2日(月)・4日(水)・6日(金)、幼大連携の一環として、本学附属幼稚園の園児が大学図書館を訪問し、図書館の見学や大学生との交流を楽しみました。大型電動書架を動かしたり、図書館ロボットによる「北風と太陽」の読み聞かせを見たり、学生サークル「ほし★たま」による「南京玉すだれ」のお披露目など、普段体験できないことをしました。園児たちからは「またいきたい!」「もっとみたい!」との元気のいい声が聞かれました。



★ 短 キラキラひかる スキー&スノーボード実習!

今年最初のSei-Tan Act!は「スノーボード実習」を行い、25名が参加しました。1月6日(火)・7日(水)の1泊2日の日程で、長野県の榑池高原スキー場へ行きました。スキーとス

ノーボードの2チームに分かれ、県内では体感できないパウダースノーを楽しみました。初日は悪天候でしたが、翌日は晴天に恵まれ、楽しい冬の思い出となりました。



★中 スキー教室

2月18日(水)、毎年恒例のスキー教室が一里野温泉スキー場で行われました。インストラクターの指導によ



り、スキーの基礎技術とマナーを身につけました。初めは不安な生徒たちでしたが、時間とともにスキーに慣れ、リフトやゴンドラに何回も乗り、急な斜面にも挑戦していました。先生や友達と一緒に雪山と戯れた楽しい一日でした。

★中 スポーツ優秀表彰!

昭和43年度から毎年実施されております金沢市スポーツ優秀選手にサッカー部18名が選ばれ、2月23日(月)、金沢市体育協会による表彰式が金沢歌劇座で行われました。勉強以外に部活動に積極的に取り組み、成果を残したことが認められました。今後、さらに大きな夢に向かって努力することを誓いました。



★中高 12月からの主な部活動成績

星稜高等学校

第93回全国高等学校サッカー選手権大会

・優勝

第70回国民体育大会冬季大会

スキー競技会

・ジャイアントスラローム競技少年男子
・第2位 森田 昂也

第77回石川県耐寒継走選手権大会

・優勝 吉野 駆流、吉田 侑平

・第2位 田中 大輝、中川 善揮

・第3部女子A組 松下 友紀、一宮 和樹

・優勝 五島 莉乃、戸部 千晶

・第2位 佐竹 莉奈、高野みちる

・第2位 岡田 奈巳、下田 志穂

・第2部 佐藤 彩羅、井久保緩奈

・第2部高校A組

・第1区区間賞 吉野 駆流

・第2区区間賞 吉田 侑平

・第3区区間賞 西 晃宏

・第4区区間賞 越島 裕暉

・第3部女子A組

・第1区区間賞 五島 莉乃

・第2区区間賞 戸部 千晶

・第3区区間賞 佐竹 莉奈

・第4区区間賞 高野みちる

平成26年度石川県高等学校総合体育大会
第51回石川県高等学校スキー選手権大会

・男子総合 ・第2位
・女子総合 ・第2位

・男子アルペン総合 ・第2位
・女子アルペン総合 ・第2位
・男子大回転

・優勝 森田 昂也

・男子回転

・優勝 森田 昂也

・第3位 高木 樹

・女子大回転

・優勝 森本 早香

・女子回転

・優勝 森田 落子

・男子団体

・第3位

石川県高等学校選抜ソフトテニス大会

・男子団体

・第3位

第23回松本旗争奪

石川県高等学校剣道選抜大会

・男子団体

・第3位

・女子団体

・優勝

平成26年石川県高等学校新人体育大会

第42回石川県高等学校新人スキー大会

・男子総合

・第3位

・女子総合

・優勝

・男子アルペン総合

・第2位

・女子アルペン総合

・優勝

石川県高等学校弓道春季練成大会

・女子団体

・第3位

第30回北信越高等学校囲碁選手権大会

・女子団体

・第2位

・座主 悠香、寺師あずさ

・第3位 座主 悠香

・個人女子

・第3位 座主 悠香

第27回石川県高等学校
ヴォーカルアンサンブルコンテスト

・銀賞 杉澤 実央、吉田 夏菜
・出口 敬絨、長崎 里奈

・重唱部門

・銅賞

竹本 颯希、浅賀 萌

紺島 櫻

奥村 夏美(ピアノ伴奏)

・合唱部門

・金賞

竹本 颯希、浅賀 萌

紺島 櫻、杉澤 実央

吉田 夏菜、出口 敬絨

長崎 里奈

石川県高等学校文化連盟音楽部より

・ミュージズ賞・年間最優秀校

第2回北信越地区自然科学部研究発表会

・研究奨励賞

プラネタリウムの開発と運用2014

河田いずみ、長坂 碧依

今本 佳歩

星稜中学校

第45回金沢市中学生耐寒剣道錬成大会

・女子団体

・第3位 三上ふた葉、松田 雪花

・女子個人

・第3位 中 生吹

・女子個人

・第3位 中 生吹

第29回石川県中学生選抜剣道大会

・女子の部

・優勝 中 生吹



★冬の全国大会出場！ 夢の表彰台に！

2月2日(月)～11日(水祝)、スキー部が秋田県鹿角市花輪スキー競技場で開催された第64回全国高等学校スキー大会に出場しました。出場したメンバーは森田昂也さん(3年)、森田蒔子さん(1年)、高木樹さん(2年)です。森田昂也さんは男子大回転と回転、高木さんは男子回転、森田蒔子さんは女子大回転と回転に出場しました。全国の強豪たちに挑み、ベストを尽くしました。なお、森田昂也さんは、群馬県片品村で開催された第70回国体冬季大会スキー競技会の大回転少年男子に石川代表として出場し、準優勝しました。



★2年生Pコース スノーボード実習

2月17日(火)～19日(木)、2年生Pコースのスノーボード実習が長野県の梅池高原で行われました。ゲレンデに降りた瞬間は、雄大な景色を眺め

る余裕がなく、ボードに慣れることで一生懸命でしたが、インストラクターの指示に従っているうちに、自分の思いどおりに滑走することができました。白銀の大自然を全身で体感し、開放感に満たされた3日間でした。



★金沢城北ライオンズ クラブより表彰！

2月25日(水)、サッカー部の全国高校サッカー選手権優勝を祝して、金沢城北ライオンズクラブより記念品の贈呈式が校長室にて行われました。沖津裕介会長、田中展郎大会長はじめ8名の方が祝福に訪れ、干場久男校長に記念品を手渡しました。干場校長のお礼の挨拶に続き、優勝メンバーの坂口瑠久さん(2年)は、新しいチームでの2連覇を目標に頑張ることを誓いました。



★中高 講演会

2月21日(土)、本校中学生と高校1・2年生を対象に、ミキハウス社長室の坂本達氏を講師としてお招きし、「自転車で世界一周」夢をかなえるた

めに自分の可能性を信じて」と題して、稲置講堂で講演会が行われました。4年3ヶ月の有給休暇をとり、世界一周5万5000キロを自転車で走破したという逸話に、生徒たちは熱心に聞き入っていました。坂本氏は自身の想像を絶する過酷な体験をおし、夢を持ち、自分の可能性を信じることの大切さを生徒に語りかけました。



★中 総合学習発表！

2月7日(土)、毎年の恒例行事となりました13回目の総合学習発表会が稲置講堂で開催されました。各クラスが4月に選んだテーマについて総合学習の時間にじっくりと取り組み、その成果を披露しました。1年生は、パワーポイントを使った初めての研究発表、3年生は、中学校生活3年間の振り返り、写真をスライドショーに映し出しました。2年生は、凝った照明や衣装を整えた劇を行い、歌ありダンスあり笑いありで、客席から何度も歓声が上がりました。

各クラスの発表内容は、次のとおりです。

- 1A「大豆の栽培と研究」
- 1B「空で起こる自然現象」
- 3A・B「写真に言葉を添えて」
- 2B「シンデレラ」
- 2A「アナと雪の女王」



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



融資部経営支援課 調査役
中村 和輝
(星稜高等学校 第27期卒)

コミュニケーションを基に、 お客さまと信頼関係を築きたい。

星稜高校を卒業後、大学を経て北國銀行に入行し早20年近くになります。支店での営業や、海外勤務、市場金融業務などを経て、昨年よりお客さまの経営サポートを担当しています。

法人のお客さまが銀行に期待するのは何か？と考えると、融資が思いつくと思いますが、経営サポートの現場ではそればかりではありません。それよりも、売上を上げるための情報や、経営の悩みの解決策や方法など、お客さまの会社をより良くする、元気にする

ための知恵を銀行に期待していると感じます。

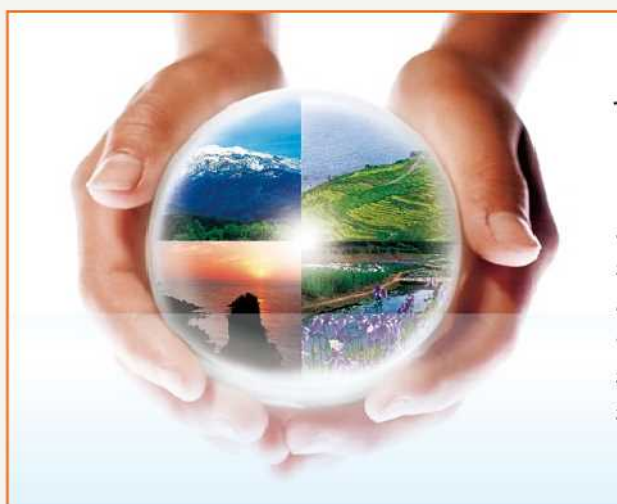
このようなニーズの中で私は、「お客さまにとって必要なサービスを、必要な時に、必要な量を提供できるよう」心掛けています。そのためには日々、勉強することも大事ですし、何よりも大切なことは、相手の目線に立って思いやる力。悩みや、本当に今欲するものを聞き出すコミュニケーション力だと思います。

どんなに物知りでも、相手に伝えることができないければ、折角の知識も活かせませんし、仕事もいただけません。コミュニケーションを基にした信頼関係があり初めて、相手からの感謝や、時に仕事の成功がいただけだと思います。

学生の皆さまには学業に加え、積極的に人と関わっていただき、是非、コミュニケーション力を高めていただきたいと思っています。

後輩の皆さまにおいてもこれから困難なことがたくさんあると思いますが、星稜高校野球部の大逆転からの甲子園出場、サッカー部の監督不在の中での全国制覇、稲置学園の皆さんの逆境での強さは日本一であり、私自身も、大きく励まされております。

稲置学園での「学び」と「誇り」を持てば、道は開けます。何事に対しても、周りの人を大切にしながら、明るく前向きに取り組んでいきたいと思います。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。
地域のみなさまと、未来をひらいていく。
ふるさとに暮らす人々が、
今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。
北國銀行は、これまでこれからも
地域とともに歩む銀行であり続けます。

幼稚園
★雪遊び大好き★

雪が降ると窓から外を眺め「雪遊びしようー」と元気な子どもたち。雪遊びの準備をする、外へまっしぐら。

さっそく雪だるまを作ったり、築山からそりをしたり、雪玉を作って投げ合ったりと、雪の冷たさを感じながら冬の自然に触れて遊びました。



★初めてのクッキング★

年長・年中組がクッキングをしている様子を見て、羨ましかった年少組。いよいよ自分たちの番になると、慣れない手つきでエプロンや三角巾を一生懸命身につけ、わくわく嬉しそうでした。スプーンでバナナを切って、牛乳で溶いたホットケーキミックスを、紙コップに入れて混



ぜ合わせるとバナナホットケーキのでき上がり。焼いているうちに、いい匂いができて興奮してきた子どもたち。好きなクリームやシロップ、スプレーチョコをトッピングしました。自分で作ったホットケーキの味は、格別のようで、「おいしい」とみんな喜んで食べていました。



★お別れ会★

2月27日(金)にお別れ会があり、いっしょに遊んだ年長さんと、かくれんぼや宝探し、妖怪体操をして楽しみました。保護者の方からは、子どもたちに人気の「アナと雪の女王」の劇などを見せてもらって大喜びでした。最後はみんなでアーチを作り、年長組を送りました。



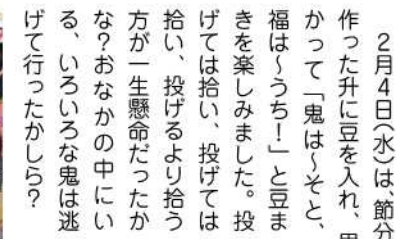
幼稚園
★ドッジボール★

体を動かすことが、大好きな年長組。今年の冬は、雪が降っては融け、降っては融けての毎日だったので、晴れた日は園庭の芝生にカラーコーンを並べ、コートを作り、「いくぞ、えい！」「やったあー！」と毎日、毎日、ドッジボールを楽しんでいます。秋はサッカー、冬はドッジボールと汗を流す毎日です。



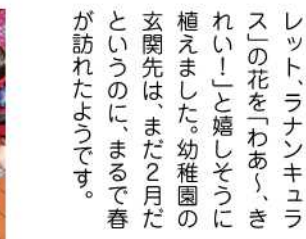
★花育★

石川県花き振興地域協議会では、「花育」を推進しています。花や緑に触れる機会として、今回は花屋のかどむらさんにポットの外し方、花の植え方などを教えてもらい、年中組が25個のプランターに、いただいた「ピオラ、マーガ



★鬼あそび★

2月4日(水)は、節分。年少組と満3歳組は、作った升に豆を入れ、思いっきり大きな鬼にむかって「鬼はーそと、福はーうち！」と豆まきを楽しみました。投げては拾い、拾っては投げ、投げるより拾う方が一生懸命だったかな？おなかの中にいる、いろいろな鬼は逃げて行ったかしら？



金沢星稜大学附属星稜幼稚園、 金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園の園長決定！

金沢星稜大学附属星稜幼稚園の園長に島田裕香子、金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園の園長に西村敬子が平成27年4月1日より就任します。



島田裕香子



西村敬子

JR金沢駅のデジタルサイネージにて、学園PR中！

北陸新幹線開業に伴い、JR金沢駅の改札前通路の柱部に、デジタルサイネージ（電子看板）が設置されました。金沢港口（西口）側に面した20面に、本学園をはじめ、JR、他企業の広告が15秒毎に掲出されます。（6分間で一巡します。）

北陸新幹線開業の影響で、JR金沢駅の利用者の増加が見込まれており、これを機会に、県内外の多くの方に、稲置学園並びに設置学校の情報を届けていきたいと思ひます。（広報課）



2014年度CDP受講者 最終合格状況

■公務員コース

行政職	最終合格者数	内定者数
国税専門官	5名	3名
税務職員	1名	1名
国家一般職（大卒）	4名	2名
国家一般職（高卒）	1名	1名
裁判所事務官一般職	2名	1名
東京都特別区一類	1名	—
金沢市役所（大卒）	1名	—
珠州市役所（大卒）	1名	1名
珠州市役所（高卒）	1名	—
南砺市役所（大卒）	1名	—
京都府公立学校事務職員（大卒）	1名	1名
国立大学法人等職員	1名	—
計	20名	10名

公安職	最終合格者数	内定者数
警視庁警察官I類（男性）	2名	1名
自衛隊一般幹部候補生	1名	—
自衛隊一般曹候補生	2名	—
石川県警（男性）	2名	2名
石川県警（女性）	2名	2名
福井県警（男性）	2名	2名
計	11名	7名

保育士採用	最終合格者数	内定者数
金沢市役所	2名	2名
野々市市役所	1名	1名
津幡町役場	1名	1名
鯖江市役所	1名	1名
計	5名	5名

■教員コース（現役学生のみ）

教員採用候補者選考試験	最終合格者数	内定者数
石川県公立小学校教員	9名	9名
富山県公立小学校教員	3名	3名
千葉県公立小学校教員	12名	7名
計	24名	19名

■税理士コース

税理士試験	合格者数
簿記論	1名
計	1名

※最終合格者数はのべ人数になります。

星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読頂き、誠にありがとうございます。
毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、
本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、抽選で100名様に図書カード（500円分）をプレゼントいたします。
右記ウェブサイトから、アンケートへの回答をお願いいたします。

抽選で100名様に
図書カードをプレゼント！

<http://www.seiry.jp/>

総合研究所・ 地域連携センター だより



総合研究所 平成26年度 研究成果報告会 を開催

金沢星稜大学総合研究所は3月12日(木)、学内の研究活動補助費による平成26年度の研究成果報告会を本学で行いました。

今回は、今年度採択された73件の個人研究、7件の共同研究及び2件のプロジェクト研究所のうち、共同研究とプロジェクト研究所の計9件の研究成果について、教員から発表が行われました。

短い時間ではありましたが活発な質疑応答や意見交換が行われました。

また、異なる分野の研究員が同じ場において発表することで、情報の収集や意見交換、自身の研究への刺激になる良い機会となりました。各発表内容は以下のとおりです。



共同研究

「障害者スポーツの組織形態と機能に関する研究―スウェーデンにおける現状―」

井上 明浩 金沢星稜大学(代表者)
杉林 孝法 金沢星稜大学

「地方自治体における体内直接投資政策の現状と課題」

木村 正信 金沢星稜大学(代表)
茂木 創 拓殖大学

「金融教育現場での実地調査に基づく金融リテラシーの実態把握」

北野 友士 金沢星稜大学(代表)
小山内幸治 滋賀短期大学
西尾圭一郎 松山大学

「スポーツマネジメント教育のルーブリック開発に関する基礎的研究」

櫻井 貴志 金沢星稜大学(代表)
田島 良輝 金沢星稜大学
神野 賢治 富山大学
西村 貴之 金沢大学
佐々木達也 東京ヴェルディ
岡野 結二 株式会社日本能率協会

「河北潟懸濁物質の大野川感潮域における拡散・沈降過程の検証」

永坂 正夫 金沢星稜大学(代表)
高野 典礼 石川工業高等専門学校

「4年保育を受け入れる意義とカリキュラムの編成について」

松本 陽子 金沢星稜大学附属星稜幼稚園(代表)
渡辺 千恵 金沢星稜大学附属星稜幼稚園
高井はるみ 金沢星稜大学附属星稜幼稚園
山口 加苗 金沢星稜大学附属星稜幼稚園
辻口 真美 金沢星稜大学附属星稜幼稚園
和田 節子 青竜幼稚園
浅井 一朗 玄門寺幼稚園

「航空会社の国内旅客運送約款の研究―特に第2章第4節「責任」に着目して―」

上田 卓爾 金沢星稜大学女子短期大学部(代表)
河合 正二 金沢星稜大学

プロジェクト研究所

「ICTを活用した授業の評価における質的な研究」

村井万寿夫 金沢星稜大学(所長)
佐藤 幸江 金沢星稜大学
馬場 治 金沢星稜大学
中川 一史 放送大学
小林 祐紀 金沢市立小坂小学校
福田 晃 金沢市立十一屋小学校
松山 貴子 金沢市立十一屋小学校
海道 朋美 金沢市立緑小学校
越中谷勇志 能美市立浜小学校
唐桑 翔子 小松市立第一小学校

「初等、中等、高等教育におけるグローバル人材育成のための教育の手立て～英語教育とICTの活用による国際協働学習を通して～」

清水 和久 金沢星稜大学(所長)
直江 学美 金沢星稜大学
リンチ・ギャビン 金沢星稜大学
Ruth Hou 台湾文雅国民小学校
Karina.Ibabao フィリピンミンダナオ国際大学
西野 聡子 金沢市立米泉小学校
前田 昌寛 石川県立金沢桜丘高等学校
塩飽 隆子 JAPAN ARTMILE
福井 良子 JEARN

地域連携センター

「北陸メッセに向けて
新しい産学の集い」に
参加しました

大学、企業、行政、金融機関の連携活動を通して新しい産業を創出し、北陸地域の活性化を目指すための産学官金マッチングイベント「北陸メッセに向けて新しい産学の集い」が2月23日(月)、ANAクラウンプラザホテル金沢で開催されました。企業、大学等によるパネル・ポスター展示や、大学と企業が産学連携で課題解決に取り組む分科会などが行われ、本学は、「地域連携」地域に根ざした「産学官金」連携の方向性」をテーマにした分科会の開催と、企業、諸団体と連携した取組みを紹介したパネル・ポスターを出展しました。

分科会では、北陸先端科学技術大学院大学の中森義輝教授から「地域イノベーションに向けた大学の新しい役割」と題して講演いただき、本学の岸本秀一経済学部教授から「地域ブランド活性化の取組み」、小松短期大学の福田雅道教授から「大学と連携した社会人リカレント教育」、そして金沢大学の清岡治特任助教から「産学連携教育の展開」について、それぞれ報告いただきました。最後に、本学の中本経済学部長が講義科目の一つである「グローバル経済市民」の紹介を含め、今後の産学官金連携推進の方向性をまとめました。

これまでの取組みと課題を踏まえ、大学教育のあり方、産業界との連携方法について、有益な意見が交わされた分科会となりました。

※グローバル経済市民とは金沢星稜大学の講義の一つで、各界の第一線で活躍する方々を講師に迎え講演形式で行う講義です。



行事スケジュール (4月～6月)

金沢星稜大学

4	2日(木)	入学式
	3日(金)	新入生ガイダンス
	5日(日)・6日(月)	山中研修(新入生)
	7日(火)	前期授業開始
	11日(土)	新入生歓迎祭
	29日(水)	通常講義日(昭和の日)
	30日(木)～5月1日(金)	ゴールデンウィーク休講
5	23日(土)	一斉補講日
	30日(土)	稲友会総会・役員会
6	13日(土)・27日(土)	一斉補講日

金沢星稜大学女子短期大学部

4	2日(木)	入学式
	3日(金)	新入生ガイダンス
	7日(火)	前期授業開始
	18日(土)	新入生歓迎祭
	29日(水)	通常講義日(昭和の日)
	30日(木)～5月1日(金)	ゴールデンウィーク休講
5	23日(土)	一斉補講日
6	6日(土)	稲星会総会・役員会
	13日(土)・27日(土)	一斉補講日

星稜高等学校

4	7日(火)	始業式、自転車安全教室
	8日(水)	入学式
	9日(木)	研修会(高1)、自転車安全教室
	14日(火)	内科検診
	16日(木)・17日(金)	
	18日(土)	身体計測
	28日(火)	遠足
5	12日(火)～15日(金)	中間試験
	15日(金)	総体・総文激励会
	16日(土)	P T A総会 保護者対象講演会 学級懇談会(高3) Aコース懇談会(高1)
	22日(金)	
	25日(月)・26日(火)	歯科検診
	29日(金)	避難訓練
	30日(土)	学年懇談会(高1)
6	29日(月)～7月3日(金)	期末試験

星稜中学校

4	7日(火)	始業式
	8日(水)	入学式
	10日(金)	研修会(中1) 交通安全教室 自転車通学説明会
	28日(火)	遠足
5	12日(火)・13日(水)	中間試験
6	5日(金)・6日(土)	写生大会
	6日(土)	進路説明会(中3)
	19日(金)	県体激励会
	29日(月)～7月1日(水)	期末試験

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	8日(水)	1学期始業式
	11日(土)	入園式
	13日(月)～15日(水)	慣らし保育
	24日(金)	進級・入園写真撮影
	28日(火)	誕生会参観
	30日(木)	保護者会総会
5	14日(木)	参観日(年長組)
	15日(金)	参観日(年中組)
	18日(月)	寺井先生の「なんでも相談室」
	19日(火)	参観日(年少組)
	22日(金)	避難訓練(地震)
	27日(水)	誕生会参観
	28日(木)・29日(金)	星稜子育てステーション
6	1日(月)	プール開き
	2日(火)	歯科検診
	4日(木)	内科検診
	12日(金)	誕生会参観
	15日(月)	プール参観(ばら組)
	16日(火)	プール参観(ゆり組)
	17日(水)	アスレパル石川 2015
	24日(水)・25日(木)	星稜子育てステーション
	29日(月)	寺井先生の「なんでも相談室」
	30日(火)	プール参観(ほし組)

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園

4	8日(水)	1学期始業式
	11日(土)	入園式
	22日(水)	進級・入園写真撮影
	23日(木)	誕生会参観
	28日(火)	保護者会総会
5	11日(月)	参観・懇親会(つき組)
	12日(火)	参観・懇親会(ほし組)
	13日(水)	内科検診
	14日(木)	参観・懇親会(りす組)
	15日(金)	参観・懇親会(うさぎ組)
	18日(月)	参観・懇親会(ばら組)
	19日(火)	参観・懇親会(すみれ組)
	20日(水)	内科検診
	21日(木)	親子遠足(年長)
	27日(水)	誕生会参観
	28日(木)	親子遠足(年中)
	29日(金)	子育て広場
	30日(土)	個人懇談会
6	1日(月)	親子遠足(年少)
	3日(水)	歯科検診
	11日(木)	親子バス遠足予備日
	15日(月)	子育て講演会
	17日(水)	アスレパル石川 2015
	20日(土)	個人懇談会
	25日(木)	誕生会参観
	29日(月)	子育て広場

あとがき

長かった冬もようやく過ぎ去り、暖かい季節となりました。先月には、北陸新幹線が開業し金沢の街中や駅などで賑わいを見せています。春は新しいことに挑戦する意欲が高まる季節だと言われます。入学、入園、進級し、新しい環境で頑張る皆さんを教員、職員一同でサポートしていきます。

広報課 原田奈緒

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成
学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町10番地1
TEL 076-253-3924(代表)
<http://portal.seiryu-u.ac.jp/>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町27番地
TEL 076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>